

【学校だより2月号】

わかたか



校訓《たたく・かしく・つよく》
霧島市立溝辺小学校

〒899-6401 霧島市溝辺町有川 196 番地 1
TEL0995-59-2204 令和8年2月6日発行

有終の美を



いよいよ、2月も半ばを迎えました。

よく「三寒四温を繰り返し春に近づいていく」と言われます。

ここ溝辺でも、1月後半から2月初めにかけて寒い日が続きました。そんな中でも子供たちは元気に校庭を走り回っています。子供は風の子だなあと思うことです。

県内ではインフルエンザが流行し、本校でも2年生を、1月29日(木)・30日(金)の2日間学年閉鎖にしました。その後も、インフルエンザの罹患者が出ていますが、学年閉鎖・学校閉鎖を考えるほどの流行ではありませんが、油断は禁物ですので、栄養・休養・睡眠をしっかりとり、手洗い・うがいや換気などで、インフルエンザ予防に努めていきます。

さて、2月も残りすくなくなり、卒業・進級まで残り1ヶ月となりました。今、学校ではそれぞれの学年の学習のまとめに入っています。子どもによって得意なことや苦手なことが違いますので、一概には言えませんが、十分定着している(身につけている)内容もありますし、苦手な内容もあります。残りの1ヶ月で、学校では、定着が不十分な内容を中心に復習していきます。苦手なことをそのままにせず、果敢にチャレンジしてその殻を破ってほしいものです。殻を破ると言えば、次のような言葉もあります。

「啐啄同時」 (そったくどうじ)

禅の言葉に「啐啄同時」というのがあります、5月は野鳥にとっては子育ての時期です。卵の中のヒナ鳥が殻を破ってまさに生まれ出ようとする時、卵の殻を内側から雛がコツコツとつつくことを「啐」といい、ちょうどその時、親鳥が外から殻をコツコツとつつくの「啄」といいます。雛鳥が内側からつつく「啐」と親鳥が外側からつつく「啄」とによって殻が破れて中から雛鳥が出てくるのです。両方が一致して雛が生まれる「機を得て両者相応じる得難い好機」のことを「啐啄同時」というのです。親鳥の啄が一瞬でもあやまると、中のヒナ鳥の命があぶない、早くてもいけない、遅くてもいけない、まことに大事なそれだけに危険な一瞬であり啐啄は同時でなくてはなりません。野鳥は巣立ちの時にも「啐啄同時」しているようです。自分で餌をとり自活していく能力が雛に具わったとみるや、親鳥は雛に巣立ちを促します。雛もこれに応じて巣から出ます。自立の瞬間です。しかし、人間は子離れしない親、親離れしない子がいかに多いことでしょうか、「啐啄同時」の機会を逸してるといふべきでしょうか。

人間関係においても、相互の啐啄が時間的に間髪入れずに意気投合しておるようであればうまくいくでしょう。機縁とは、あることが起こるようになるきっかけをいうのですが、おのずとくるものであって、つくろうとしてもつくれるものでもありません。機縁とは熟するもので、この機縁が熟した時こそ、啐の時であり、啄の時です。

卒業・進学、進級に向けて子どもたちが自ら伸びようと内側からコツコツとつついていることに気づき、そのタイミングに合わせて外側からつつく(認め・励ます)ことのできる教師であり、親でありたいと願っています。



【学級レク・新1年生体験・家庭教育学級】



【6年薬物乱用防止教室】



【4年持久走練習】



【2年持久走練習】



【3年食育指導】



【5年研究授業】



【1年給食試食会】

産前休暇の宮崎里穂先生の後任として、飛永（とびなが）恭子先生が来ました。



【スプリングコンサート】

【3月行事】

- 3日（火）4・5年新委員会活動
- 6日（金）お別れ遠足・集会
- 9日（月）移動図書館
- 12日（木）卒業式予行練習
- 14日（土）土曜授業
スプリングコンサート
- 24日（火）卒業式（4年以上）
- 25日（水）修了式 辞任式



【4月行事予定】

- 8日（水）新任式 始業式 入学式準備
- 9日（木）入学式
- ※始業式と入学式が別日です。
- 16日（木）1年生給食開始
- 17日（金）学級PTA 専門部会
- 22日（水）からいも植付
- 28日（火）1年生を迎える会

